

⑥1 東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）【復興支援道路】

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 道路部
 国土交通省 岩手河川国道事務所
 国土交通省 南三陸国道事務所

キーワード 復興支援道路、事業促進PPP、早期完成

全建賞審査委員会の評価ポイント

岩手県沿岸部と内陸部を結ぶ東北横断道釜石秋田線の釜石道路（6 km）と遠野道路（11 km）の整備事業。整備により沿線に新たな企業や工場が立地し、地域の産業・経済の活性化に貢献している点や、国内初の事業促進PPPの導入や、用地取得前に埋蔵文化財の試掘調査を行うなど様々な事業プロセスの短縮方法を活用し、事業化から7年4ヶ月での開通を実現した点が評価された。

1. はじめに

岩手県の沿岸部の三陸沿岸道路と内陸部の東北縦貫自動車道を結ぶ、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）は延長約80kmの高規格幹線道路であり、東日本大震災以降は復興支援道路に位置付けられ、復興に向けたリーディングプロジェクトとして整備が進められてきたところである。このうち、遠野道路（遠野住田IC～遠野IC、L=11km）と釜石道路（釜石JCT～釜石仙人峠IC、L=6 km）は、震災後に事業化した区間であり、それぞれ平成31年3月3日と3月9日に開通し、全線が開通となった。

2. 事業の概要

東北横断自動車道釜石秋田線は、地域経済の発展や交流人口の拡大など、東日本大震災の復興を支援するため、一日も早い開通が強く望まれているところであり、内陸側（遠野住田IC～東和IC）を岩手河川国道事務所、沿岸側（釜石JCT～遠野住田IC）を南三陸国道事務所がそれぞれ担当し、事業推進を図ってきた。



釜石JCT～釜石仙人峠IC 開通式（3月9日）の様子

事業推進にあたっては、国内初の事業促進PPPの導入や、用地取得前の埋文試掘調査および関係機関の全面協力により一括した設計施工協議を行うなど、様々な事業

プロセスの短縮を実現し、事業化から僅か7年4ヶ月での開通を達成する事が出来た。

3. 事業の成果

今回の全線開通により、三陸沿岸地域が岩手県内陸部はもとより、近県、首都圏等とも連携が強化されることで、地域経済の発展など、復興の加速が期待されている。



遠野住田IC～遠野IC 開通式（3月3日）のパレードの様子

実際に釜石港においては、内陸部との大幅な時間短縮が図られることから、コンテナ取扱量が年々増加しており、また沿線の遠野市、釜石市などでは新たな企業進出や工場立地等により地域の活性化に繋がっている。

また技術面では、将来の維持管理費低減に向け「産・官・学」の共働により、現場打ちコンクリートの品質向上に取り組み、施工上の注意点などをとりまとめた。

4. おわりに

今年ラグビーW杯が行われる釜石市では、開通直後にオープンした市内の観光施設等が当初予想を大きく上回る集客となっているとともに、沿線の道の駅や各観光地も、前年比を上回る集客があるなど、地域から嬉しい話題が届いている。今後、横断道の活用によって、三陸沿岸地域の一層の活性化が期待される。

賛助会員 (株)安藤・間、(株)大林組、(株)ガイアート、世紀東急工業(株)、セントラルコンサルタント(株)、(株)NIPPO、日本道路(株)、(株)復建技術コンサルタント、(株)本間組、(株)横河ブリッジ